



イベント 終了しました

## 江戸歴史講座第36回 十返舎一九生誕250年記念 江戸時代の旅の文学—十返舎一九作『東海道中膝栗毛』—

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>江戸時代には、街道の整備や印刷技術がすすみ、それにつれて旅をすることも徐々に庶民の日常生活に近づいた。また多くの文学作品が生まれ、有名どころとしては江戸時代初めの滑稽文学『竹斎』や松尾芭蕉の『おくのほそ道』がある。それ以外にも旅や旅情を描いた文学作品は多い。</p> <p>そうした多くの旅の文学の中で、この時代の庶民に最も親しまれた作品が江戸時代後期に出版された十返舎一九の『東海道中膝栗毛』であり、我が国文学作品の主人公としてかなり有名な人物が本作の主人公弥次郎兵衛と喜多八である。</p> <p>『膝栗毛』がこの二人による滑稽を基として作られている事は間違いないが、それ以外にもこの作品の特徴がある。今日は、それらや今年生誕250年を迎えた作者一九についても考えてみたい。</p>
日にち	2015年12月04日（金） 19:00から20:30

日にち説明	当日の受付開始 18:30～
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（申込順）
参加費用	1000円（千代田区民500円）

講師・出演者	中山 尚夫
プロフィール	<p>■中山 尚夫（なかやまひさお） 東洋大学文学部教授。 1949年群馬県生まれ。東洋大学大学院文学研究科博士課程満期退学。博士(文学)。日本近世文学を専攻。十返舎一九ほか滑稽本、狂歌等が専門分野。主著は『十返舎一九研究』（おうふう、2002年）、『十返舎一九集』（古典文庫、1981～2002）等。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

申込期間	2015年10月07日 19:00 から2015年12月04日 19:00
------	---------------------------------------

申込方法	電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館(1階受付)いずれかにて、①講座名(または講演会)、②お名前(よみがな)③電話番号をご連絡ください。
------	--

<b>カレンダー表示</b> <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	<b>2015年 12月</b>						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

発信日	2015.10.07
-----	------------

[ツイート](#)